

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	埼玉県	事業実施主体	埼玉県、美里町	地域再生計画名	“美しい里”定住したい魅力ある地域づくり計画
計画期間	平成28年度～令和2年度	評価責任者	埼玉県県土整備部長、美里町建設水道課長		

	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度		年度	中間実績	基準年度			指標総数	達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	新築件数の増加	63件	H27	219件	H30	212件	365件	R2	×	3	2	中間目標値を7件下回っており、進捗状況に若干の遅れが伺えるが、引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指す。
	指標2	間伐面積の増加	0ha	H27	9ha	H30	15ha	15ha	R2	○			中間目標値を上回っている。引き続き計画に則した整備に努める。
	指標3	人口1,000人当たりにおける交通事故発生率の低下	5.95件	H27	5.80件	H30	4.81件	5.50件	R2	○			中間目標値を満たしており、目標達成の見込みである。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1												
	指標2												
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度（H30）	最終実績見込み								
特別措置を適用している事業	町道整備事業（整備延長）		2,167m	156m	1,887m	当初計画に対し、路線延長から見ると進捗率は、7.2%と遅れているが、計画延長を達成できるように整備を進める。							
	林道整備事業（整備延長）		600m	210m	600m	当初の計画に基づき、林道整備が行われた。引き続き整備を行う。							
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業	定住促進奨励金		美里町への定住を促進		町内に定住するため住宅取得する40歳以下の者に奨励金を支払う事業を実施し、定住人口を増加させた。								
	地方創生加速化交付金		美里町の魅力を発信		町の魅力を高めるための交流イベントを開催した								
	寄居スマートインターチェンジ整備事業		インターチェンジと周辺産業団地の整備		スマートインターチェンジとその周辺産業団地を整備を進めたことで、定住地のポテンシャルを高めた。								
	里山再生事業		景観の向上と生物多様性の保全		荒れていた里山が整備され、地域の景観が向上した。								
④評価方法	公共事業優先順位確認会を評価委員会とし、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行う。												
⑤中間評価の公表方法	美里町のホームページに掲載予定												
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、町道と林道を一体的に整備することにより、町全体の安全性、利便性を向上させるとともに森林資源の活用を図る。住みやすさ、森林資源の魅力、そして新たな企業誘致を加えた美里町の魅力を構築し、定住人口の増加させることを目的としている。なお、指標1の新築件数増については、現時点で中間目標値を割れているが、少しでも人口増に繋がるよう、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていくものである。												
⑦今後の方針等	中間評価結果の反映状況				有りの場合その具体的内容								
	地域再生計画の見直し（有・無）				インターや産業団地と同時に積極的に生活道路整備を進めたことで、定住地としてのポテンシャルが高くなり、整備量が低いにも関わらず、目標値を達成できると思われる。								
⑧今後の方針等に対する対応	令和2年度予算要望額への反映（有・無）												
	有りの場合の増減額 千円												